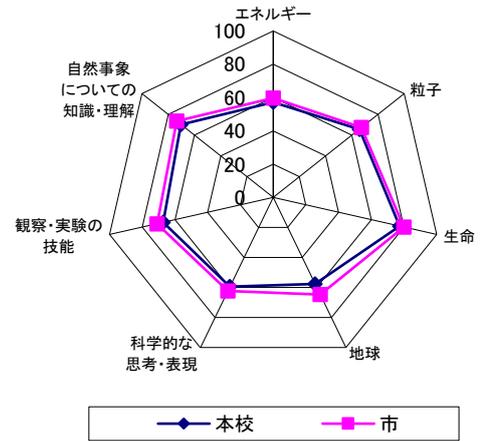


宇都宮市立田原中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	57.2	59.7	57.9
	粒子	65.8	67.4	59.8
	生命	77.3	79.9	73.5
	地球	57.7	64.7	54.6
観点別	科学的な思考・表現	59.4	62.3	56.3
	観察・実験の技能	67.2	70.9	65.4
	自然現象についての知識・理解	70.3	73.5	66.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●他の自治体と比べると正答率は0.7ポイント下回っている。(昨年度は0.2ポイント上回っていた。) ●市と比べると本校の正答率は2.7ポイント下回っている。(昨年度も2.7ポイント下回っていた。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年時の「光、音、力」の単元において、特に音の伝わり方や速さの求め方を実験や問題演習を通じて理解を深めさせる。 ・2年時の「電気」の単元において、視覚的な学びを導入する。電磁誘導などの現象を実験や映像を用いて理解を深めさせる。
粒子	<ul style="list-style-type: none"> ○他の自治体と比べると正答率は6.0ポイント上回っている。(昨年度は0.2ポイント上回っていた。) ●市と比べると本校の正答率は1.6ポイント下回っている。(昨年度は 0.2ポイント下回っていた。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年時の「いろいろな物質」の単元において、二酸化炭素の発生について、身近な自然現象を用いて詳しく説明する。実験時には、検出方法を1つに限定せず、複数の方法で確認する。
生命	<ul style="list-style-type: none"> ○他の自治体と比べると正答率は3.8ポイント上回っている。(昨年度は 0.2ポイント上回っていた。) ●市と比べると本校の正答率は2.6ポイント下回っている。(昨年度は 0.2ポイント下回っていた。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年時の「植物」の単元において、植物のなかまの増やし方、成長の仕方について、自然現象の知識・理解のみならず、科学的な思考という観点で指導に当たる。
地球	<ul style="list-style-type: none"> ○他の自治体と比べると正答率は3.1ポイント上回っている。(昨年度は 0.2ポイント上回っていた。) ●市と比べると本校の正答率は7.0ポイント下回っている。(昨年度は 0.2ポイント上回っていた。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の方法を工夫し、地球の成り立ちについて、科学的な思考という観点で指導に当たる。「山地と平野」、「日本と外国」など、相反する2つのものを比較し考え授業展開を実践する。